

生徒指導だより「こころ」

平成29年12月22日(金)

NO.6 文責 藤本 喜士

清々しい締めくくりでした

11月の本紙であいさつは”未来を切り拓く力”というお話をしました。2学期に生徒会が中心となり、「立ち止まってのあいさつ向上」に取り組み、とても清々しい姿が学校生活の随所に見られています。「何で?」「面倒くさい」と思っている子もいると思いますが、生徒会が主体となって頑張っていることで「私たちもやらねば」という良き輪が広がっているのだと思います。まだ継続して生徒みんなができていくとは言いがたい状況で、3学期のスタート時に自然と立ち止まってあいさつができるかが一つの目安になるかと思えます

新年も清々しく、

そして笑顔で迎えることができますように!



進級、進学へ弾みのつく冬休みに

3学期は1,2年生にとって2,3年生の0学期、3年生にとって人生初の”【高校入試】分岐点となる試験”に挑む大切な期間です。気持ちを切り替え、さらに心身の向上を図ることができるように冬休みの生活からメリハリある過ごし方を心がけてほしいと思います。

本日別紙にて「冬休みの生活」についてプリントを配布しています。ご一読いただきますようお願いいたします。

- 特に、
- 1、部活動以外で10時以前、17時以降の外出はしないこと。
 - 2、ゲームセンター、カラオケボックス等の遊技場に入出入りする時は、必ず本人の保護者が同伴すること。
 - 3、外泊は必ず本人の保護者が同伴すること。
 - 4、インターネットの使用ルール三箇条の厳守
 - ①夜10時以降はインターネット等が使える機器(携帯、スマホ、音楽プレーヤーも含む)やゲームを触らない。
 - ②インターネット上で知り合った人とは絶対に会わない。
 - ③インターネット上やメールなどに人の悪口を絶対に書かない。

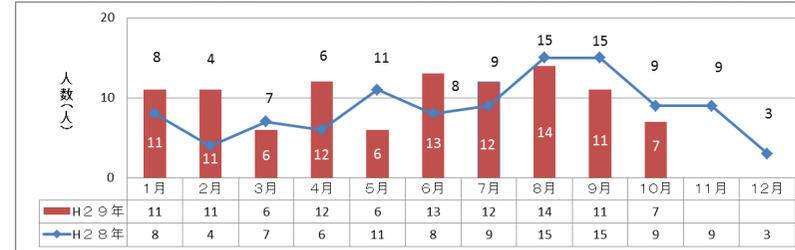
については事故・トラブル防止の土台ですので、親子で徹底をお願いします。

交通事故が増加しています

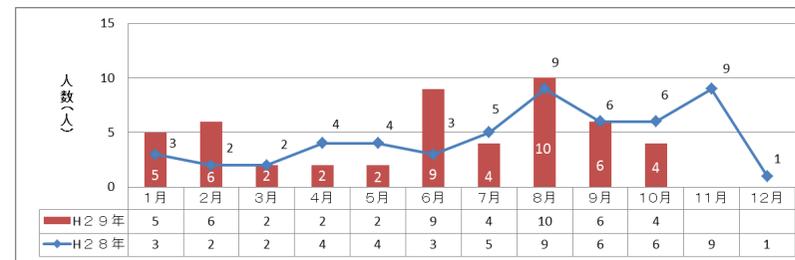
今年の1月から10月までに熊本県内で発生した交通事故による中学生の負傷者数・自転車乗車中の負傷者数をグラフで掲載しています。それぞ

れ昨年から11人、6人増加しており、このペースでいくとまだ増えてしまいそうな傾向が見られます。下校の様子を見てみると、特に三岳方面にのびる農道で歩行者・自転車ともに道いっぱいに広がっていることがありました。数人には声をかけて我が命、友だちの命を守るためにルールを守るように話しました。中には2度、3度と声をかける生徒もいました。保護者の皆様にもあいさつ運動等でご協力いただき、交通ルール厳守の徹底に取り組んでいる中ですので残念でなりません。勢いよく通過する車もあり心配です。ご家庭での話題に上げて我が子の様子、一緒に帰る友だちの様子をご確認いただければと思います。何かありましたら学校へご連絡いただければと思います。よろしくお願いいたします。

1 中学生の傷者数について(県警本部交通企画課資料より)



2 中学生の自転車乗車中の傷者数について(同上)



反射材で身を守りましょう!

歩行者は反射材を着用しましょう!

夕暮れどき、夜間は反射材を着用しましょう。

明るい色の服を着ていても、自動車からはよく見えません。夕暮れどきや夜間の外出には必ず反射材を着用しましょう。反射材を着用すると120m以上離れた自動車から発見することが出来ますので、交通事故に遭う危険性がとても低くなります。

反射材は、暗い場所でもよく見えます。

暗い服は、暗い場所でもよく見えます。

明るい色の服でもよく見えます。

反射材を付けるのが1番。

車から見える距離

0m 20m 40m 120m

前回は掲載した内容ですが、さらに日暮れが早くなり自動車から歩行者や自転車を確認しづらくなってきました。左の図にありますが、反射材がやはり安全確保のために有効のようです。

登下校もですが、休日に外出する場合でも、反射材を身につけることが習慣化できればと思います。ご協力をお願いします。